

氏名（本籍）	金 正 和
学位の種類	博士（デザイン学）
学位記番号	博甲第 7184 号
学位授与年月	平成 27 年 1 月 31 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
審査研究科	人間総合科学研究科
学位論文題目	高齢者施設における介護ボランティア導入による 介護の質の変化に関する研究

主 査	筑波大学教授	博士（デザイン学）	五十嵐浩也
副 査	筑波大学准教授	博士（工学）	花里 俊廣
副 査	筑波大学准教授	博士（工学）	山本 早里
副 査	筑波大学准教授	博士（学術）	山中 克夫

## 論文の内容の要旨

### （目的）

本研究は、高齢者介護施設における高齢者による介護ボランティアの導入は、高齢者介護の内容を身体介護中心から、生活援助中心に変化させることにつながり、介護を受ける高齢者においては「介護の質」が変化し、より好ましいものになることを明らかにすることを目的とする。

### （対象と方法）

研究の対象としては、東京都の近郊の稲城市及び府中市に所在する高齢者介護施設 14 施設と、そこにおける管理的立場の人々、スタッフ、介護ボランティア、入居者である。また、第 3 章では、スウェーデンの高齢者介護施設におけるボランティアの活用状況を報告しており、こちらも研究対象とした。

研究方法としては、人々に対するアンケート調査、インタビュー調査と、施設内における行動マッピング調査、行動観察調査を用いた。

### （結果）

第 2 章に示したとおり、高齢者施設における、管理的立場の人々、スタッフ、介護ボランティア、入居者に対するインタビュー調査の結果によると、介護ボランティア導入は共に歓迎され、介護の満足度に効果があることがわかった。また、特に、アンケートの結果と各種指標を掛け合わせてそれぞれの指標間の関係を見る単相関分析により、介護ボランティアの割合が介護のゆとり度や仕事

量の軽減につながり、さらには、それらが居住者やスタッフ、介護ボランティアの満足につながっていることが統計的な検定結果に基づいた結果として明らかになった。これが本研究の主要な発見である。

また、第3章に示したとおり、スウェーデンにおける自治体の介護福祉担当者や高齢者施設の管理的立場の人々に対するインタビュー調査の結果からも、介護ボランティア導入は共に歓迎され、介護の効果があることが示唆された。

さらに、第4章で示したとおり、スタッフ・介護ボランティア・入居者の行動マッピング調査の結果においても、入居者の日常接している環境において違いが見られ、介護ボランティア導入は介護に効果があると示唆された。

そして、第5章で示したように、一人の入居者がスタッフ及び介護ボランティアから日中に受ける介護内容を明らかにする行動観察調査の結果においても、入居者の行動に違いが見られ、介護ボランティア導入による介護に効果があることが理解された。

このように、高齢者施設における介護ボランティア導入は介護の質に変化をもたらし、介護に効果があることを示している。

#### (考察)

本研究では、介護ボランティアの割合が高くなるにしたいが、介護のゆとり度や仕事量の軽減につながり、さらには、それらが居住者やスタッフ、介護ボランティアの満足につながっていることが明らかになった。また、3・4・5章において明らかになったように、スウェーデンにおいても、行動マッピング調査の結果においても、行動観察調査の結果においても、つまり、日本だけでなく、福祉先進国のスウェーデンにおいても、ボランティア導入が実施されていること、また、入居者の日常接している環境において違いが見られること、一人の入居者がスタッフ及び介護ボランティアから日中に受ける介護内容においても違いが見られることなど、介護の質に違いがあったことを報告している。ただし、介護のなかでも、「生活援助」に関する介護ボランティアであり、「身体介護」を含めた介護行為全体を示したものではない。このように、どの施設においても「生活援助」と「身体介護」が必要であることはいまでもなく、スタッフとボランティアとの両者が必要であることは言いまでもないことも考察により導かれている。

## 審査の結果の要旨

#### (批評)

介護ボランティアを行う動機として、第2章に示すとおり、無欲で善意に満ちていると思えるものであり、これらの導入は潜在的なワークフォースを掘り起こすばかりでなく、自身のライフスタイルに影響を与え、社会にも、ボランティア個人に与える影響においても、意義深いものになると予想できる。国が高齢社会白書で「高齢者は高齢社会を支えることが可能な貴重なマンパワー」と位置づけているように、高齢者による介護ボランティアは、この高齢社会を乗り切るためには欠かせない存在であると言える。介護のなかでも、「生活援助」による介護ボランティアとは言え、介護ボランティア導入は高齢者施設から歓迎され、介護の質に変化をもたらし、介護に効果があることを示すことができた意義は大きいと考える。

平成 26 年 12 月 3 日、学位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと論文について説明を求め、関連事項について質疑応答を行い、最終試験を行った。その結果、審査委員全員が合格と判定した。

よって、著者は博士（デザイン学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと認める。

以上